

母校の全国大会の応援報告

高校駅伝全国大会

12月25日(日)第73回全国高校駅伝大会応援に東京秋工会から7名(ナマハゲ2名)参加しました。12:30号砲一発たけびしスタジアム京都(西京極陸上競技場)を、本校を含む47都道府県の代表校が、天候は晴れ9.9℃、湿度50%、東の風1.5メートルの中、一斉にスタートし師走の都大路を駆け抜けた。

我々応援組は、タクシーに分乗し、中継点でロケーションのいいところ、若しくはその近傍に陣取り、声を囂らした。直接現場で見ると兎に角速い、用意周到に構えてないと、背中に向けて声援するはめになる。選手の顔は、一度見たぐらいでは覚えておらず、胸元の徽章が頼りでした。

今までの実績から、1区の大野君に期待しましたが、残念ながら届きませんでした。彼のレコードから推定すると、800メートル〜5,000メートルが強さの発揮できる範囲と思われました。今回10,000メートルの距離は、果たして妥当だったのか、素人の邪推が頭を擡げます。

エントリーメンバーの内訳は、3年生が6名、2年生が3名、1年生が1名で、3年生主体の構成ですが'23は、どのようなチームを目指すのか期待に胸が膨らみます。今回23位は、よく頑張ったと思います。因みに本番の2時間7分23秒は、予選タイムを18秒縮めている。監督の目論見は、どの辺にあるのか分かりませんが、方向性は間違っていないような気がします。新たな人材が、台頭して秋工旋風を巻き起こしてくれるのか、大いに



OB応援団出陣(ホテル前)



1区で2位集団(5:秋工)



4区

期待したいと思いますし、われわれOBを、さらに楽しませてくれたら、幸甚です。

私は、「なまはげ」が同行した応援を経験したのは初めてでした。関係者全員が競技場に集まりそれぞれの、分担に散るわけですが衣装を身にまとい、そこにいるだけで存在感が増し、測り知れないアピール度は、まさに全国区であることを、改めて認識しました。「なまはげ」担当の方大変お疲れ様でした。

記事 嵯峨 勝 (昭和43年機械科卒)

第73回全国高校駅伝大会応援に東京秋工会から7名(ナマハゲ2名)参加しました。私は24日に飛行機で行きました。天気が良く晴れて上空から横浜港・富士山がクッキリ良く見えました。新幹線組は名古屋から関ヶ原間が雪で徐行運転のため約40分遅れで京都駅に到着しました。11時50分に伏見稲荷大社観光と入賞祈願を拝観しました。広大な敷地の中「二峯」まで上がり(階段)休憩して折り返しかなりきつかったです。残念ながら霞がかかり京都市内の眺望はできませんでした。

新門荘にチェックインし、その後清水寺に拝観しました。清水寺は改修工事の足場が取れて、柱・梁が重厚感ありました。恒例の新門荘において、監督・選手を関西支部・東京秋工会・秋田県大阪事務所・京都県人会・近畿県人会・秋田県高等学校体育連盟会長・副会長が激励しました。その後、八坂通り「燕楽」にて佐藤校長先生と東京秋工会7名と懇親会しました。

25日はナマハゲが競技場に残り、我々5名OBがチャーターしたタクシーに分乗して1区の間地点・3区・4区を応援し競技場に戻りアンカーの応援をしました。残念ながら1区大野君が中間地点の5キロでは2位集団のトップで元気よく通過して、我々も大きな声で頑張れと応援したが、後半失速したのが残念でした。それぞれの選手が実力発揮できなかったと思います。コンディションを最高に持って行くのが難しいですね。来年に期待しましょう。ナマハゲお疲れさまでした。



OBによるナマハゲ応援

記事 三平 俊悦 (昭和39年建築科卒)



リフォームのワイケー

〒198-0036 東京都青梅市河辺町4-11-12

TEL: 090-6473-1846

FAX: 0428-27-1409

e-mail: yykk2004@t-net.ne.jp



昭和42年機械科卒 代表 大澤 隆夫

塗装&リフォーム 一何よりも本物を一

